

Connecting to Jaime Pietrantoni - Dialog - 245985

Subaccount = 044527/312856-TW_042607

[File 351] **Derwent WPI** 1963-2007/UD=200725

(c) 2007 The Thomson Corporation. All rights reserved.

[File 345] **Inpadoc/Fam. & Legal Stat** 1968-2007/UD=200716

(c) 2007 EPO. All rights reserved.

**File 345: Preview the enhanced INPADOC database in ONTAP File 253. For more information, visit www.dialog.com/inpadoc.*

[File 331] **Derwent WPI First View UD=200725** (c) 2007 The Thomson Corp.

. All rights reserved.

**File 331: For patent family information, search also File 351, 352, or 350.*

[File 347] **JAPIO** Dec 1976-2006/Dec(Updated 070403)

(c) 2007 JPO & JAPIO. All rights reserved.

S1

3 S PN=JP 2001157102

1/3,LS,AB/1 (Item 1 from file: 351)
Derwent WPI
(c) 2007 The Thomson Corporation. All rights reserved.

0010830944

WPI Acc no: 2001-448519/

XRPX Acc No: N2001-332164

Microphone holder of video camera, has two clamp sections among which one clamp section is movable along longitudinal direction

Patent Assignee: KOKUSAI DENKI KK (KOKZ)

Inventor: KANDA H; MATSUNAGA H

Patent Family: 1 patents, 1 countries

Patent Number	Kind	Date	Application Number	Kind	Date	Update	Type
JP 2001157102	A	20010608	JP 1999341186	A	19991130	200148	B

Priority Applications (no., kind, date): JP 1999341186 A 19991130

Patent Details

Patent Number	Kind	Lan	Pgs	Draw	Filing Notes
JP 2001157102	A	JA	3	5	

Alerting Abstract JP A

NOVELTY - Microphone holder has two clamp sections (1,2) for holding a microphone (5), among which one of the clamp sections is movable along longitudinal direction.

USE - Microphone holder of video camera.

ADVANTAGE - Damage to the microphone and microphone holder are prevented by holding microphone using one movable clamp section for mounting long microphone. Degradation of tone quality due to the shake of microphone leading end portion is reduced, since microphone is held in position by two clamp sections, and low cost microphone holder is provided.

DESCRIPTION OF DRAWINGS - The figure shows the diagram of microphone holder.

1,2 Clamp sections

5 Microphone

Basic Derwent Week: 200148

1/3,LS,AB/2 (Item 1 from file: 345)
Inpadoc/Fam.& Legal Stat
(c) 2007 EPO. All rights reserved.

Acc no: 17138992

Basic Patent (No,Kind,Date): JP 2001157102 A2 20010608

No. of Patents: 001

MICROPHONE HOLDER MECHANISM FOR VIDEO CAMERA (English)

Patent Assignee: HITACHI INT ELECTRIC INC

Author (Inventor): KANDA HIROAKI; MATSUNAGA HIROKI

IPC: *H04N-005/225; H04R-001/00

Language of Document: Japanese

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applic No	Kind	Date	
JP 2001157102	A2	20010608	JP 99341186	A	19991130	(BASIC)

Priority Data (No,Kind,Date):
JP 99341186 A 19991130

1/3,LS,AB/3 (Item 1 from file: 347)

JAPIO

(c) 2007 JPO & JAPIO. All rights reserved.

06929561 MICROPHONE HOLDER MECHANISM FOR VIDEO CAMERA

Pub. No.: 2001-157102 [JP 2001157102 A]

Published: June 08, 2001 (20010608)

Inventor: KANDA HIROAKI

MATSUNAGA HIROKI

Applicant: HITACHI KOKUSAI ELECTRIC INC

Application No.: 11-341186 [JP 99341186]

Filed: November 30, 1999 (19991130)

ABSTRACT

PROBLEM TO BE SOLVED: To further reduce damages to a microphone and a microphone mechanism, which may possibly occur in the case the long microphone is fixed by only one clamp part and to reduce sound deterioration due to the shaking of the top end of the microphone, in the microphone mechanism of a video camera.

SOLUTION: This microphone mechanism has two clamp parts for holding the microphone, and further, one between the two clamp parts can be moved in the longitudinal direction of the microphone.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-157102

(P2001-157102A)

(43) 公開日 平成13年6月8日 (2001.6.8)

(51) Int.Cl.⁷ 識別記号
 H 0 4 N 5/225
 H 0 4 R 1/00 3 2 8

F I テーグコード (参考)
 H 0 4 N 5/225 F 5 C 0 2 2
 H 0 4 R 1/00 3 2 8 Z 5 D 0 1 7

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平11-341188

(22) 出願日 平成11年11月30日 (1999.11.30)

(71) 出願人 000001122

株式会社日立国際電気
東京都中野区東中野三丁目14番20号

(72) 発明者 神田 広明

東京都小平市御幸町32番地 日立電子株式
会社小金井工場内

(72) 発明者 松永 裕樹

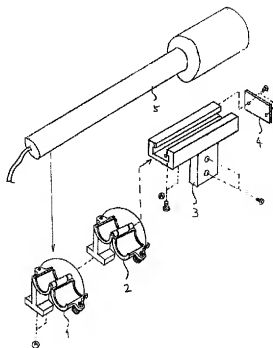
東京都小平市御幸町32番地 日立電子株式
会社小金井工場内Fターム (参考) 5C022 AC27 AC72
5D017 B804

(54) 【発明の名称】 ビデオカメラのマイクホルダ機構

(57) 【要約】

【課題】 ビデオカメラのマイクホルダ機構において、1箇所だけのクランプ部でもって長いマイクロホンを固定した場合に生じる恐れがあるマイクロホンやマイクホルダ機構の破損をより少なくし、マイクロホン先端部の振れによる音質の劣化を低減する。

【解決手段】 マイクを保持するための二つのクランプ部を有し、さらに、二つのクランプ部のうち一方がマイクの長手方向に移動可能とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 マイクをビデオカメラへの装着するために、該ビデオカメラへ取り付けられるマイクホルダ機構において、マイクを保持するための二つのクランプ部を有し、さらに、前記二つのクランプ部のうち一方がマイクの長手方向に移動可能であることを特徴とするビデオカメラのマイクホルダ機構。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ビデオカメラのマイクホルダ機構の改良に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来のマイクホルダ機構は、図4に示すように、ビデオカメラの側面に1つのクランプ部からなるマイクホルダをねじで取付け、マイクロホンが長いのか否かに係わらず、図5に示す様に、このマイクホルダのクランプ部でもってマイクロホンを保持していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】前述の従来技術では、より長いマイクロホンを取り付けたときに、そのマイクロホンがクランプされている箇所からマイクロホンの先端までがより長くなってしまい、そのため、その長いマイクロホンを装着したビデオカメラの運用時に、マイクロホンの先端をおぶけるようなことがあった場合に、マイクロホンまたはマイクホルダを破損してしまう恐れがある。また、マイクロホンの先端での振動の発生が頻繁に生じたり、その振動が大きくなってしまう、余計な音を拾ってしまう恐れもある。

【0004】本発明は、上述の問題を解決し、より長いマイクロホンを装着した場合であっても、破損し難く、また、余計な音を拾い難くするようにしたマイクホルダ機構を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上述の目的を達成するために本発明は、マイクをビデオカメラへの装着するためにビデオカメラへ取り付けられるマイクホルダ機構において、マイクを保持するための二つのクランプ部を有し、さらに、前記二つのクランプ部のうち一方がマイクの長手方向に移動可能としたものである。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、この発明の一実施例を、図1、図2、図3を用いて説明する。図1は、本発明のマイクホルダ機構の構成例を示す図で、このマイクホルダ機構は、クランプ部1、クランプ部2、ベース3、押え板4から構成され、マイク5が装着される。以下、このマイクホルダ機構の各構成部分の関係について説明する。

図1において、ベース3の溝にクランプ部1、クランプ部2が挿入される。クランプ部1はネジでもってベース3に固定され、そうすることで、クランプ部2のみが前後に移動可能のようにされる。また、クランプ部2の抜け止めとして押え板4がベース3に取り付けられる。なお、クランプ部1、クランプ部2の間に溝がある構成とし、ベース側において断面がT形状であったとしても、本発明として上述のマイクホルダ機構と同様に実施することが可能である。

【0007】次に図2、図3を用いて説明する。図2は、クランプ部2をクランプ部1に近づく方向へ移動させ、クランプ部1との間隔を狭く取り、短いマイクロホンを保持している状態を示した図である。また図3は、クランプ部2をクランプ部1から離れた方向へ移動させ、クランプ部1との間隔を広く取り、長いマイクロホンを固定している状態を示した図である。

【0008】

【発明の効果】本発明によれば、短いマイクロホンの時は、間隔を狭く、長いマイクロホンの時は間隔を広く取るようにしてマイクロホンを固定することが可能となり、マイクロホンおよびマイクホルダの破損を防止し、マイクロホンの振れを最小限に抑えて余計な音を拾わないばかりでなく、二つのクランプ部の形状が共用されることで、よりローコストなマイクホルダ機構を提供することが可能となる。

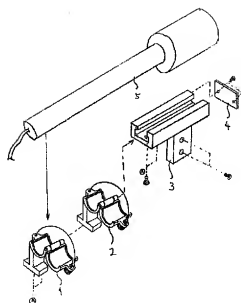
【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のマイクホルダ機構の構成例を示す図。
【図2】本発明のマイクホルダ機構を用いて短いマイクロホンを保持している状態を示した図。
【図3】本発明のマイクホルダ機構を用いて長いマイクロホンを保持している状態を示した図。
【図4】従来のマイクホルダ機構の一例を示した図。
【図5】従来のマイクホルダ機構を用いて長いマイクロホンを保持している状態を示した図。

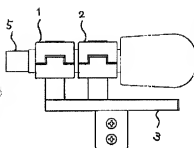
【符号の説明】

1、2：クランプ部、 3：ベース、 4：押え板、
5：マイクロホン

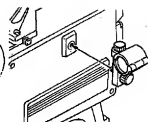
【図1】



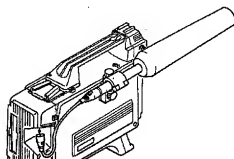
【図2】



【図4】



【図5】



【図3】

